

もくじ			
えび人 vol.98	2	文化会館	10
今号の表紙	3	相談	11
市道の整備状況	4	図書館	12
20歳に聞いた「10年後の私」	6	子育て・HUGHUG赤ちゃん	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 時時間 場場所 対対象 定定員
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝祝日・振替休日を除く 休休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます

市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。
 ご協力ありがとうございました。

題 字

えびな

バスケを楽しく頑張っています。
 有馬小学校 林 亮太さん(10歳)



写 真

タイトル：月夜の七重の塔
 撮影場所：海老名中央公園
 撮 影 者：国分南在住
 K.S.さん



(写真上) 消防操法大会での宣誓の場面。
 スマホの待ち受けにしている

(写真中) 必ず入賞してきた歴史をつなぐことはプレッシャーでもあり、やりがいでもある

(写真下) 第10分団の団員たちと。「全員がかけがえのない仲間」と胸の内は終始一貫



EBIBITO vol.98

えび人

「地盤の元気が海老名市」

今月のえび人

やまだ ゆうや
 山田祐也さん
 (杉久保北在住・42歳)

海老名市消防団第10分団分団長。消防団歴は約12年。消防団協力事業所に認定されている市内の土木関係会社に勤務。聞くのもしゃべるのも好き。

団員との熱い絆で 杉久保を守る

団員たちのことを「人生の仲間」と表現する山田さん。築いてきた絆はかけがえないと話します。「消防操法大会は、きつい中でもみんなでやり切るから感動がでかい。大の大人がハグしながら泣いちゃうんですから」
 分団長としてつらかったのは練習で叱る場面でした。「今の時代に合っていないかもしれないけど、この団の絆の基になっている一丸となって練習をやり抜く厳しさは、次世代につないでいきたい。同時に若い人たちが苦勞しない環境も作ってあげたい」

山田さんは話すことも盛り上げることも大好きです。「傷つけるような冗談は言わないように気を付けています。熱く語ってうるせえな」と思われることもあると思うけど、それでもめげずに伝えていきたい。ちょっとでも心に引かかってくれればいいかな」と情豊かな一面をのぞかせます。
 「精一杯やれば後悔しない」の信念のもと、持ち前のぶれない心と温かさで結束力をつないでいきます。

編集雑記

「二十歳の祝典」は人生の節目となるイベントの一つ。私も参加した時は、背伸びした自分に胸を弾ませていました。出会いも、別れも、一期一会。その真っ只中^{ただなか}にいる時は当たり前を感じている時間も、遠い未来でふと懐かしく大切に思い出す。そんな時間を過ごせたのではないのでしょうか。皆さん、おめでとうございます。(木)